

プラスチック成形加工学会 第32回秋季大会 「美ら海に響け！成形加工の新たなハーモニー」

情報 URL <https://www.jspp.or.jp/>

第32回秋季大会は、「美ら海に響け！成形加工の新たなハーモニー」をスローガンに、沖縄県宜野湾市で開催いたします。本秋季大会では、プラスチック成形加工発展の鍵となる研究発表・議論、また交流の場を提供いたします。行事内容としては、特別講演、6分野の特別セッション、一般講演、ポスターセッション、懇親会などを予定しています。

皆様の積極的な研究成果のご発表及びご参加をお待ちしております。最新情報は、学会ウェブページでお知らせしますので、ご確認お願いいたします。

1. 日時：2024年11月27日(水)、28日(木)

2. 会場：沖縄コンベンションセンター

〒901-2224 沖縄県宜野湾市真志喜4丁目3-1
会場への交通アクセス詳細は、下記ウェブページをご参照下さい。

<https://www.oki-conven.jp/>

大会が行われる11月は、沖縄への修学旅行シーズンと重なっており、すでに宿泊および航空券等の予約混雑が始まっています。大会へのご参加を予定されている方は、早めにご手配いただくことを推奨します。また、会場と那覇市内の公共交通機関による交通アクセスの利便性もあまり高くありません。混雑の分散のため、可能であればレンタカーなどの活用もご検討ください。

3. 主催：(一社)プラスチック成形加工学会

4. 協賛(予定)：化学工学会、型技術協会、強化プラスチック協会、高分子学会、自動車技術会、精密工学会、繊維学会、全日本プラスチック製品工業連合会、日本機械学会、日本合成樹脂技術協会、日本ゴム協会、日本材料学会、日本接着学会、日本繊維機械学会、日本塑性加工学会、日本バイオプラスチック協会、日本複合材料学会、日本プラスチック機械工業会、日本レオロジー学会、マテリアルライフ学会、日本金型工業会、SPE日本支部、次世代プラスチック成形技術研究会

5. 後援：(一財)沖縄観光コンベンションビューロー

6. 内容：

6.1 特別講演

(2)

・岩村 俊平 氏

((一財)沖縄県環境科学センター 業務部長兼
SDGs事業実行班長)

「沖縄 MICE 開催におけるサステナビリティガイド
ラインの紹介」

・仲村 顕 氏

(沖縄県立芸術大学 芸術文化研究所 共同研究員)
「沖縄空手とその歴史」

6.2 特別セッション

特別セッションⅠ

「材料開発を支えるゴム・エラストマー」

〈河原成元(長岡技術科学大学)、山本祥正(東京工業
高等専門学校)〉

ゴム・エラストマーは、軽くて柔らかいだけではなく、無機材料や金属材料には見られないゴム弾性および粘弾性を示します。それ故、タイヤやホースをはじめとした様々なゴム製品に利用されており、近年では天然ゴムと合成ゴムを合わせて年間約3千万トンが消費されています。本セッションでは、ゴム・エラストマーを用いた材料開発で重要となる反応制御、構造解析、物性評価などに関して議論する場を提供します。多数のご講演の申し込みをお待ちしております。

特別セッションⅡ

「接着・接合を奏でる：表面・界面をアンサンブル」

〈小寺賢(MORESCO)、大久保雄司(大阪大学)、中野涼子(福岡大学)〉

自動車や航空・宇宙産業をはじめとするさまざまな分野において、軽量化や高強度・高剛性化など相反する性能両立のために、プラスチックと金属などの異種材料を組み合わせるマルチマテリアル化が急速に進んでいます。このキーテクノロジーとして異種材料同士の接着・接合技術が挙げられ、より高度化するために密接する場としての「表面・界面」における化学的および物理的なアプローチはもちろんのこと、成形加工技術とも組み合わせることが重要と考えます。本セッションでは、接着・接合、表面・界面などをキーワードとし、特に高分子材料と異種材料の組み合わせを中心に、成形加工ならではの視点で、深く議論する場を提供します。多数のご講演の申し込みをお待ちしております。

特別セッションⅢ

「環境にやさしい材料の成形加工最前線」

〈田上秀一(福井大学)、柴田信一(琉球大学)、伊崎健晴(三井化学)、木村公一(日本製鋼所)〉

植物などの再生可能な有機資源を原料とするバイオマスプラスチックと微生物等の働きで最終的に二酸化炭素と水にまで分解する生分解性プラスチックの総称であるバイオプラスチック、木粉や植物繊維、でんぷんなどのバイオマスをフィラーとして用いるバイオマス複合材料は、いずれも古くから研究がなされています。また、カーボンニュートラルの観点からプラスチック材料のリサイクルにも関心が集まっており、いずれも持続可能な開発目標=SDGsに資する材料として近年注目度が高くなっています。本セッションでは、「環境にやさしい」をキーワードに、バイオプラスチックやバイオマス複合材料、リサイクル材料に関する研究開発の現状や課題、今後の展望について幅広く議論すべく、バイオプラスチック、バイオマス複合材料、リサイクル材料、それらを複合化した材料の開発から高機能化、物性評価、混合・混練も含む各種成形加工技術など、環境にやさしい材料に関する発表を広く募集します。多数のご講演の申し込みをお待ちしております。

特別セッションⅣ

「つなぐ、つなげる成形機と人」

〈安田健（東京都立産業技術研究センター）、新川真人（岐阜大学）、齋藤卓志（東京工業大学）、村田泰彦（日本工業大学）〉

近年、ものづくりの現場では、膨大なデータが蓄積、発信されています。プラスチック成形加工分野においても、工場からのデータ、成形加工機からのデータなど、大小問わず多くのデータが取得、活用されています。本セッションでは、成形機や周辺機器から得られるデータにスポットを当て、アナログデータ、デジタルデータ、画像や動画などの様々なデータを活用した成形加工について議論の場を提供したいと考えております。例えば、センシング技術やコンピュータの進化によって新たに可能になった精密な解析技術、成形加工に関わるビッグデータの取り扱い手法なども含まれます。IT、IoT、AI、DXと進歩している世の中に、時代が進んだからこそできること、気づいたことなど皆様からの多数のご講演の申し込みをお待ちしております。

特別セッションⅤ

「セルロース・カーボン系複合材料の“シン”成形加工」

〈木原伸一（広島大学）、仙波健（京都市産業技術研究所）、阿多誠介（産業技術研究所）、植松英之（福井大学）、石川健（三菱ケミカル）〉

快適生活を維持する社会インフラの強靱化や高度情報化社会を促進する、高性能・高機能複合材料は絶えず進歩が求められています。その中でセルロース系やカーボン系フィラーはその特異的な物質特性が大きく注目されていますが、フィラー形状の特徴を考え、マイクロ・マクロスケールのモルフォロジー形成等の工夫がなければ期待される複合材料にはならないこともわかってきています。つまり、このようなフィラーをプラスチックに上手に複合化するには、マトリックス

とフィラーの双方の特性を知り、また、その界面・表面をうまく調整するだけでなく、多様な用途展開のために製品形状の自由度の高さ、生産性、最近ではリサイクル性なども視野にいたれた総合知からなるプロセッシングが必要です。このような背景から素材のポテンシャルを引き出せる成形加工とは？など、真に役立つセルロース系やカーボン系フィラー複合材料を生み出す新プロセッシングの視点を持ち寄り、“シン”成形加工を考える活発な議論の場を提供したいと思っております。多数のご講演の申し込みをお待ちしております。

特別セッションⅥ

「沖縄における成形加工の取り組み」

〈柴田信一（琉球大学）、神田康行（琉球大学）〉

沖縄地域は亜熱帯島嶼地域であり、これまで地域性を活かした取り組みが産官学において実施されてきました。このセッションでは沖縄地域のプラスチック成形加工に関連する企業・団体から、最新の技術開発・製品などの紹介を行い、幅広い議論の場を提供したいと考えております。多数のご講演の申し込みをお待ちしております。

6.3 一般セッション

1. 射出成形
2. 押出成形・混練
3. ブロー成形・熱成形
4. 紡糸・フィルム成形
5. 熱硬化成形・反応成形
6. 超臨界流体・発泡成形
7. 金型・成形機・周辺機器
8. 構造・物性・評価
9. 接着・接合・二次加工
10. アロイ・ブレンド・複合材料
11. 工業レオロジー
12. 新成形法
13. マイクロ・ナノ
14. 環境・リサイクル
15. CAE
16. 3Dプリンティング・DX
17. その他

6.4 ポスターセッション

〈木田拓充（滋賀県立大学）、引間悠太（産業技術総合研究所）、比江嶋祐介（金沢大学）、渡邊詩織（神戸製鋼所）、神田康行（琉球大学）〉

発表者と大会参加者の活発なコミュニケーションの場として、ポスターセッションを設けます。ポスターセッションにおける優れた発表に対しては、優秀ポスター賞として表彰を行う予定です。

6.5 カタログ・機器展示会

〈廣野正樹（三菱エンジニアリングプラスチック）、山田紗矢香（神戸製鋼所）、土門晃大（クラレ）、安田健（東京都立産業技術研究センター）〉

研究者・技術者と関連企業との出会いの場や技術交流の場としてカタログ・機器展示会を開催します。プラスチック成形加工に携わる幅広い分野からの出展を

お待ちしております。詳細情報は大会ウェブサイトをご確認ください。

6.6 懇親会（予告）：

第32回秋季大会では、大会1日目の夜に対面での懇親会を那覇市内のホテルにて開催します。懇親会の中で、ポスター発表および表彰式を行います。皆様のご参加をお待ちしております。

ご参加をご希望なされる場合、オンラインでの大会参加申し込み時に懇親会参加をご選択ください。詳細は大会ウェブページでご確認ください。

会場：ホテルコレクティブ

〒900-0014 沖縄県那覇市松尾2丁目5-7

6.7 運営支援委員募集

大会前日準備と大会中の会場運営に協力していただく「運営支援委員」を募集しております。大会運営を通して、同世代の研究者・技術者との交流や著名な先生・研究者の方々と親しくなる機会が豊富にあります。人脈形成や若手研究者・技術者の教育、育成の場として是非、ご活用ください。詳しくは大会ウェブページをご確認いただき、是非、運営支援委員の応募をご検討下さい。

7. 講演申込等のスケジュール：

①講演申込締切：2024年7月19日(金)

②予稿原稿締切：2024年9月20日(金)

本大会の口頭発表は会場の関係で講演可能な枠数が限られております。同じ発表で口頭とポスターの両方の申し込

みはできません。また、口頭発表申し込みが講演枠数を超える場合、ポスター発表への振替を行うことがございます。調整は実行委員会に一任いただきますよう、ご了承ください。

8. 参加申込について（予告）：

① 秋季大会に参加ご希望の方は、秋季大会ウェブページよりオンラインでお申し込みいただきます。申し込みページは10月に公開を予定しています。

② 参加費については下表の通りです。

正会員・賛助会員・特別セッションで実行委員から講演依頼された方	13,000円*
協賛学協会会員	18,000円*
学生(会員)	3,000円*
学生(非会員)	3,000円(税込)
非会員	23,000円(税込)
懇親会費(会員・非会員問わず)	8,000円(税込)

*)不課税

9. 秋季大会に関する問い合わせ先：

プラスチック成形加工学会第32回秋季大会（成形加工シンポジウム'24）実行委員会

委員長：西谷 要介（工学院大学）

副委員長：柴田 信一（琉球大学）

杉田 寿夫（パナソニック インダストリー）

E-mail：symposia2024@jspp.or.jp